

第3回北海道プライマリ・ケアフォーラムを開催しました

(11月28日土曜日 札幌市 かでる2・7)

勝田琴絵先生(勤医協芦別平和診療所)を実行委員長に学生・若手医師の方々が1年間にわたり企画して下さいました。例年当ブロック支部と北海道庁が主催しています。

ポスターにお示しするような魅力的な内容で会場は満員御礼でした。スタッフも含め140名超が参加されました。旭川医大・札幌医大・北大から多くの医学生が参加。非常に魅力的な学生企画・ワークショップ・特別企画が行なわれ、どのセッションも盛り上がりました。

基調講演は唐津市民病院きたはたの大野每子院長による「家庭医をめざしてジャングルジムをのぼったら」。気さくな大野先生のウィットに富むトークで今までのキャリアを現在に至るまで振り返っていただき参加者皆が魅了されました。

懇親会では各後期研修プログラムの紹介も行なわれ、充実したフォーラムを締めくくりました。企画・運営を担当して下さいました方々、参加者の皆様に心より御礼申し上げます。

(別紙：フォーラムの案内と北海道保健福祉部医師確保推進グループが作成して下さいました写真による報告)

第3回北海道プライマリ・ケアフォーラムの様子

＜開会挨拶＞		
日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部長 木村先生	北海道保健福祉部 森技監	実行委員長 勝田先生
		

①学生企画／若手キャリアプラン 「家庭医療の舞台裏へ～若手キャリアプラン～」 >



②ワークショップ／多職種連携 「困ったなあ、そうだみんなで相談だ～多職種連携やってみよう～」



③ワークショップ／臨床推論 「在宅でどう判断する？—訪問診療における臨床推論—」



第3回北海道プライマリ・ケアフォーラムの様子

④ワークショップ／患者中心の医療の方法 「臨床に活かすための「患者中心の医療」入門」



⑤特別企画／シンポジウム1 「専門医をとったらどうなるの？～病院総合医のキャリアプラン～」



⑥特別企画／シンポジウム2 「北海道を知ろう～私の町はこんな町～」



第3回北海道プライマリ・ケアフォーラムの様子

基調講演

「家庭医をめざしてジャングルジムをのぼったら」

講師： 唐津市民病院きたはた 院長 大野 每子 先生



<閉会挨拶>

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック副支部長 川畑先生



ポスター展



会場の様子

